

海水を吸って生きているアコウの木。
その根は、埋め立てられた海や、近くの井戸の中にも伸びている。
アコウをひとつの手がかりに、水俣湾埋立地の旧海岸線を歩き、
海に降りられる場所などを撮りました。

森田具海 写真展

アコウ、傍らの記憶

Akoh: and the Memories by Its Side
Tomomi Morita photo exhibition

2026. 11 月 26 日 (木) — 12 月 20 日 (日)

月～金 8:30-21:30、土～日 10:30-19:00

会期中無休 入場無料

会場：山口大学総合図書館 1 階ロビー

〒753-0841 山口市吉田 1677-1 駐車場有り

主催：山口大学 川尻剛士研究室



机に落ちる雨粒とアコウの実 2026 年 ©Tomomi Morita

トークイベント「水俣の写真とわたし」（要申込）

1960 年代から今日に至るまで、多くの写真家たちが水俣に魅せられてきました。
かれらの写真をいま見つめることの意味について語り合います。



2026. 11 月 27 日 (金) 14:40 - 16:10

会場：山口大学総合図書館 アカデミックフォレスト

登壇者：森田具海（写真家）、小泉初恵（一般社団法人 水俣・写真家の眼）、川尻剛士（環境教育学）

定員 40 名（先着順、参加費無料）※定員に達し次第、受付終了

学生先行受付：10 月 1 日 (木)～ 一般受付：11 月 1 日 (日)～

申込先：右記 QR コード（google フォーム）または、E メール t.kawajiri@yamaguchi-u.ac.jp

<一般社団法人 水俣・写真家の眼> 1960 年から水俣、不知火海沿岸の写真を撮影してきた写真家（桑原史成、塩田武史、宮本成美、アイリーン・M・スミス、北岡秀郎、小柴一良、芥川仁、田中史子）の 24 万点を超える水俣病関連写真の長期保存と活用を目指し設立。写真記録を「人類の遺産」として次世代へ残す活動を続けている。

トークイベントの主催：川尻剛士研究室

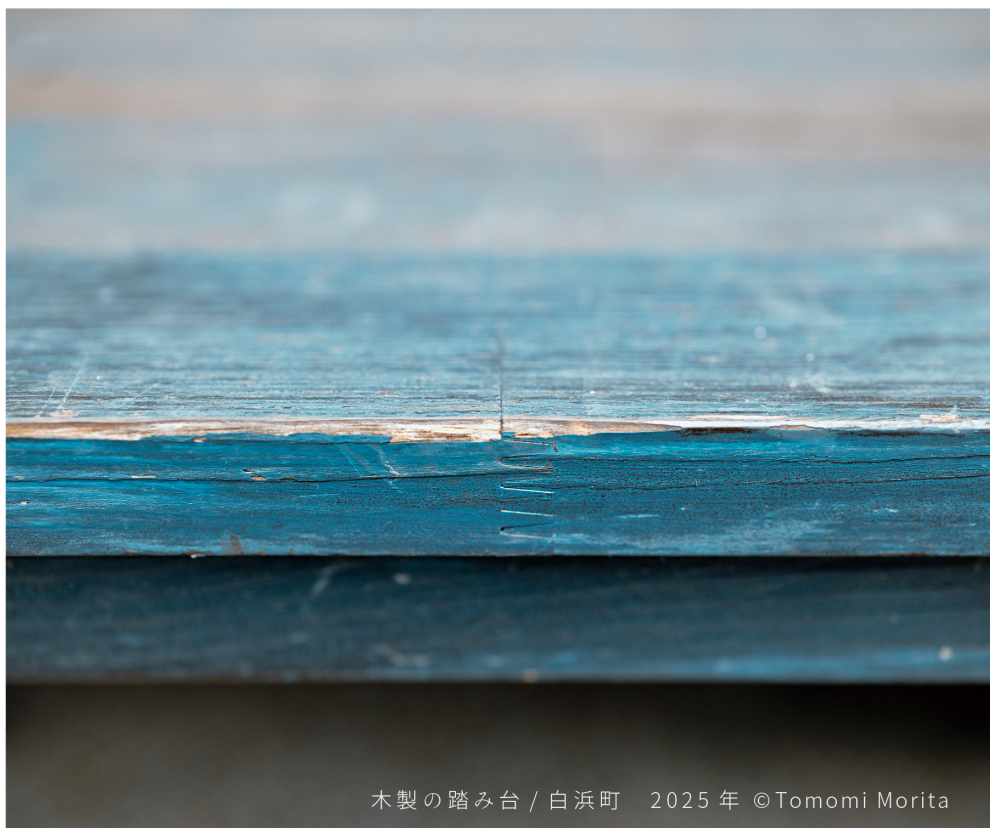
協力：一般社団法人 水俣・写真家の眼

青いステップ、不知火海

Tomomi Morita Photo Exhibition
森田具海写真展

2026. 11 月 29 日（日）－12 月 20 日（日） 11:00 - 16:00 ＊平日は要問合せ 入場無料

会場 | 阿東文庫 〒769-1511 山口市阿東徳佐上 1133 旧亀山小学校内（駐車場有り）



木製の踏み台 / 白浜町 2025 年 ©Tomomi Morita

森田具海（もりた・ともみ）

1994 年、京都生まれ。水俣湾の埋立地や入江、岬の風景などを記録し、生活者の身体の一部のような眺め、記憶が息づく場所を写真で表現している。現在は熊本県水俣市を拠点に活動。近年の個展に「港の木 タイドプール」（Iso Books、2026 年）、「海の痕跡を見つめる ―そして信じること」（EUREKA、2025 年）などがある。

関連企画 トークイベント（要申込）

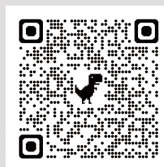
2026. 11 月 29 日（日） 14:00 - 16:00

会場 阿東文庫 入場無料（定員 30 名、先着順）

登壇者 森田具海（写真家）、川尻剛士（環境教育学）

申し込み先：右記の QR コード（google フォーム）より受付

または、山口大学川尻剛士研究室 t.kawajiri@yamaguchi-u.ac.jp



会場・開館状況に関するお問合せ

阿東文庫 080-5047-8881（明日香 健輔）、または 090-8063-1348（吉見 正孝）

主催：山口大学川尻剛士研究室 後援：阿東文庫